

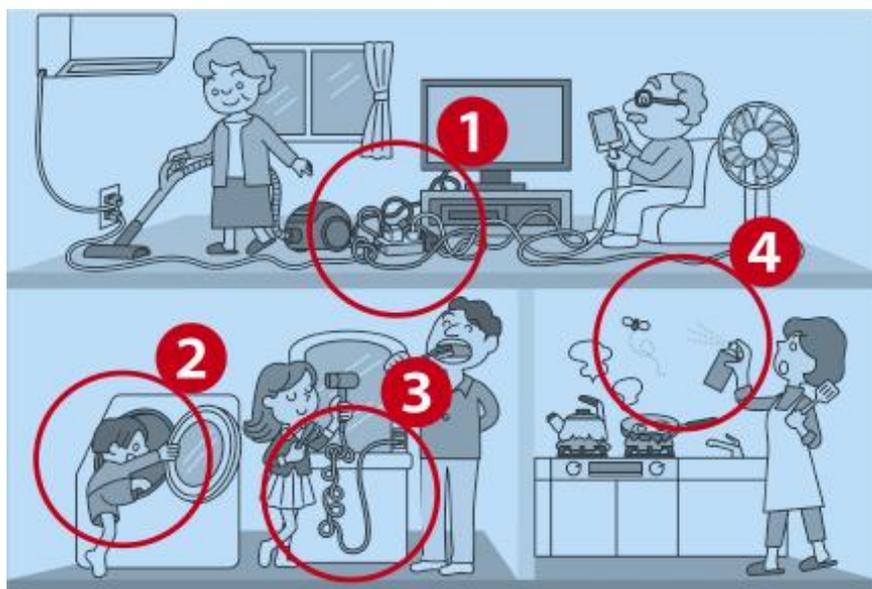
製品安全模擬授業における授業展開

1. 趣旨・目標：製品の間違った使い方や危険性について動画で確認したり、自身の使い方を見直したりする活動を通して、製品を正しく安全に使用しようとする意識を高める。※小学5年生の学習指導要領家庭編では「健康，快適，安全で豊かな住生活に向けて考え」「身近な物の選び方，買い方を理解し，購入するために必要な情報の収集・整理が適切にできること」も示されている。
2. 生徒が用いるもの・・・ワークシート、筆記用具
3. 授業に必要なもの・・・動画を再生、視聴するための環境（ネット回線、モニター等）
4. 授業の進行について

	時間	区分	内容	資料
製品安全（危険性も含め）について知る	5分	導入 (全体)	1 導入（製品安全授業の趣旨説明）	
	16分	展開1 (全体)	<p>2 動画 「運命の巻戻士～使い方を間違えと思わぬ事故が！身の回りに潜む危険！【製品安全編】」 ※動画内では、家庭内や放課後等に実際に起こりうる製品事故を計11例紹介しています</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">授業をされる先生へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PSマーク制度は、「特に危害の発生の恐れが高い製品」について、国が定める技術基準を満たすことを義務づけており、その基準に適合した製品にマークを付与する制度です。そのため、身の回りの全ての電気用品にPSEマークがついている訳ではありません（電気用品で対象となるのは457品目（2025年1月時点）例：ACアダプター、コンセント、モバイルバッテリー、エアコン等。 ・また同様に、PSCマーク（生活製品。例：ライター、バイク用ヘルメット、圧力鍋等）、PSTGマーク（都市ガス機器）、PSLPGマーク（LPガス機器）についても対象製品が決まっています。 ・PSマークがあっても事故が発生しないことを保証するものではありません。 	動画
	5分	展開2 (個人)	<p>3 ワークシート（クイズ形式） ※何がよくないのか？どんな危険があるのか？までを問うものになっています</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">授業をされる先生へ</p> <p>質問3について…モバイルバッテリーは火災などの事故が多くPSEマーク制度の対象製品ですが、バッテリーを搭載したスマートフォンは、給電するための製品ではないため対象外です。ではスマホは果たしてどうでしょうか。</p> <p>「特に危害発生の恐れが高い製品について、国が定めた技術基準を遵守するよう義務づけており、その技術基準に適合していることを示すのがPSマーク」という前提のもと、自由に議論を行ってください。</p>	個人用 ワークシート

製品安全について振り返る、見直す	10分	展開3 (グループ)	4 グループワーク ※ワークシートは、個人ワークシートをもとにグループ毎に話し合って記入できるものになっています	グループ用ワークシート
	12分	展開4 (グループ)	5 発表 ※担当教員(担任)が発表者を指名し、日頃の学級の状況に即して発表が行われるよう進行してください ※3分×4グループ程度を想定しています ※グループ用ワークシートはモニター投影、もしくは黒板に掲示して発表するなどを想定しています	グループ用ワークシート
	2分	まとめ	6 総括 ※宿題用として、実生活と繋げるための課題 「自宅で1つ改善してみよう!」を用意しています	宿題用プリント

※個人用ワークシート内クイズの答え



- ①たこ足配線になっている
- ②洗濯機の中に子どもが入ろうとしている
- ③ドライヤーの配線がぐるぐるになっている
- ④ガスコンロの近くで殺虫剤を使っている